



水通信



2022.10.28 第188号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

水資源機構（旧水資源開発公団）は、令和4年（2022年）5月1日で設立から通算して60年を迎えました。

今後も「安全で良質な水を安定して安くお届けする」経営理念のもと、事業推進に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

60年記念動画を、こちらからご覧になれます。



豊川・木曽川水系30ver.jpg



豊川水系15ver.jpg



木曽川水系15ver.jpg

水資源機構ホームページでも、60年記念事業についてお伝えしていきます。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya>



目次

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。
各事業所名をクリックすると目次に戻ります。

☆ [【巻頭言】](#)

- 中部支社 事業部長 河合 久志

☆ [【中部管内水源情報】](#)

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#)

☆ 《新着情報》

[中部支社](#)

- 令和4年度（第25回）中部ブロック技術研究発表会を開催しました
- 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました
- コンプライアンス及び交通安全講習会を実施しました

[豊川用水](#)

- 小学生が夏休みに水の勉強 ～牟呂松原頭首工・用水路の見学～
- 地元の小学生が大野頭首工を見学
- 浅間風越トンネルが貫通
- 大島ダム・ウォーク（第11回）を開催します

[木曾川水系連絡導水路](#)

- 「冠山登山道清掃活動」に参加しました

[愛知用水](#)

- 上下流交流イベント「流域で繋がったらめでタイね」に参加しました
- 「愛知用水と水源の森」イベントに参加しました

[木曾川用水](#)

- 木曾川用水・長良導水管理運営協議会を開催しました
- 交通安全講習会（第1回）を開催しました！
- 就業体験実習生（インターンシップ）を受け入れました

[岩屋ダム](#)

- 「地震防災訓練」を行いました
- 「第10回馬瀬あゆマラソン」に参加しました

[阿木川ダム](#)

- 恵那農高と協働による空芯菜を収穫しました

徳山ダム

- 徳山ダム上流のコア山にて苗木のホームステイ・植樹活動を行いました
- 徳山ダム上流の原石山の湿性地にて外来種の駆除作業を行いました

長良川河口堰

- 船舶揚陸作業を実施しました
- 「安全運転管理推奨像」活動実施中

味噌川ダム

- 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました
- 地元中学生等に施設見学を実施

三重用水

- 赤川の清掃活動を実施しました
- 地震防災訓練（個別訓練）を実施しました
- 船舶操縦訓練を開催しました

☆ 【イベントカレンダー】

- 11月～12月イベントカレンダー

☆ 【編集後記】

- 担当課 中部支社事業部ダム事業課



巻頭言

【中部支社 事業部長 河合 久志】

ようやく過ごしやすい気候となりました。

今年の名古屋の夏は、真夏日の日数が過去最多に並ぶなど暑い夏となり、台風も14号のように超大型化の襲来や、発生個数が9月の平年値を上回りましたが、幸いにも台風の東海地方への直撃はありませんでしたが、台風から吹き込む湿った空気の影響により降雨があり、防災態勢を執り洪水対応を実施しました。

さて、今年、水資源開発公団設立から60周年を迎えました。中部支社管内では、愛知用水公団の設立からは67年目になります。

愛知用水公団は昭和30年に設立され愛知用水、豊川用水の建設を実施し、水資源開発公団は昭和37年に設立され利根川水系の事業を皮切りに全国で事業が展開されました。豊川用水の建設が完了した昭和43年に愛知用水公団と水資源開発公団が統合され、平成15年に水資源開発公団が解散、同年水資源機構が設立され、現在に至っています。

中部支社管内では、水資源開発促進法に基づき、木曾川水系が昭和40年、豊川水系が平成2年に水資源開発水系に指定され、水資源開発公団事業として水路、ダム、河口堰の建設を行うとともに、愛知用水公団から承継した愛知用水、豊川用水を含め全9施設で管理を行うとともに、水路施設で新たな水需要や水利用の高度化・合理化等に対応する二期事業、施設の大規模地震対策、老朽化等に対応する改築事業を実施するなど、時代の要請に応えた事業を展開しています。

※詳しくは中部支社パンフレット内の事業年表をご覧ください。

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/gaiyou202003syuusei.pdf>

これらの施設により、洪水被害の軽減や利水の安定的な水供給がなされ、本地域の産業発展等に大きく寄与していることは、関係者の皆様のご協力の賜であり、60周年を迎えられたことに改めて感謝申し上げるとともに、未来永劫これらの効果が発揮、維持するよう適切な施設管理に努めて参ります。

60周年記念事業では、記念ロゴの作成や記念誌の制作などを行っており、機構HPに掲載していますので、是非、ご覧になって下さい。

水機構HP <https://www.water.go.jp/honsya/honsya/60th/60thlogo/index.html>



時代を支える水資源機構 中部管内のあゆみ



1955年(昭和30年)10月
愛知用水公団 設立



愛知用水(牧尾ダム(御嵩湖))



愛知用水(東郷調整池(愛知池))

1961年(昭和36年)10月
愛知用水 管理開始

1962年(昭和37年)5月
水資源開発公団 設立



豊川用水(宇連ダム(風来湖))



豊川用水(二川子チェック)

1965年(昭和40年)6月
木曾川水系指定

1968年(昭和43年)4月
豊川用水 管理開始



岩屋ダム(東仙峽金山湖)



岩屋ダム(放流設備)

1968年(昭和43年)10月
愛知用水公団を統合

1977年(昭和52年)4月
岩屋ダム 管理開始



木曾川用水(蜂屋調整池)



木曾川用水(海部幹線水路)

1983年(昭和58年)4月
木曾川用水 管理開始

1990年(平成2年)2月
豊川水系指定



中部支社HP



紹介動画(豊川・木曾川水系)

■ 60周年記念パネル

1955年(昭和30年)～
1990年(平成2年)

■ 60周年記念パネル

1991年(平成3年)～
2008年(平成20年)

時代を支える水資源機構 中部管内のあゆみ



1991年(平成3年)4月
阿木川ダム 管理開始



阿木川ダム(阿木川湖)



三重用水(中里ダム(鈴後湖))

1993年(平成5年)4月
三重用水 管理開始

1995年(平成7年)4月
長良川河口堰 管理開始



長良川河口堰



味噌川ダム(奥木曾湖)

1996年(平成8年)12月
味噌川ダム 管理開始

1998年(平成10年)4月
長良導水 管理開始



長良導水(取水施設)



豊川用水(大島ダム(朝霧湖))

2002年(平成14年)4月
豊川総合用水 管理開始

2003年(平成15年)10月
独立行政法人水資源機構
に移行



愛知用水二期(白山開水路)



徳山ダム(徳山湖)

2005年(平成17年)4月
愛知用水二期 管理開始
(水路等施設)

2008年(平成20年)4月
徳山ダム 管理開始



紹介動画(豊川水系)



紹介動画(木曾川水系)

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける10月27日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の10月降雨量は平年を下回る状況（平年比34%～58%）となっておりますが、4ダム合計の貯水率は96%（平年比110%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの10月降雨量は、平年を下回る状況（平年比34%～36%）となっておりますが、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は93%（平年比107%）と平年を上回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける10月の降雨及び利水貯水率（10月27日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	58	34	52	49	34	36	47	47
利水貯水率 （平年比）	89.5 (118.8)	100 (106.1)	100 (103.2)	100 (107.9)	91.0 (110.7)	98.1 (102.8)	84.0 (109.3)	100 (100)

・中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou04-1.html>

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、阿木川ダム管理所で現場技術業務に従事されている山下さんにこれまでの経歴や業務内容などについてお話を伺いました。



■阿木川ダム堤体前で撮影

<Profile>

山下 和人 *Kazuto Yamashita*

株式会社アイ・ディー・エー 現場技術員
(阿木川ダム管理所 勤務)

平成16年 一級土木施工管理技士取得

平成22年 株式会社アイ・ディー・エー入社

令和4年 阿木川ダム管理所に配属、現在に至る

山下さんは現在、阿木川ダム管理所にて現場技術業務に従事されておられますが、具体的にはどのような業務をなさっているのですか。

—阿木川ダム管理所では、ダム管理日報・水質・気象観測・洪水調節等のデータ整理、湖面・貯水池周辺・ダム下流の巡視・設備点検補助、ダムの維持管理に関する業務の監督補助、工事発注図面・変更図面・数量計算書等資料作成補助等を行っています。



■ダム湖面を巡視中

土木業界を志したきっかけについて教えてください。

—私の家は兼業農家で正直農業は嫌いでしたが、高校進学の際に中学の先生の勧めでしぶしぶ農業高校に入学しました。そこでは、農業・畜産・土木のコース選択があり、農業は嫌でしたし、家畜の飼育は無理と思い、土木コースを選択し測量・製図等を学びました。卒業後は学んだことを活かそうと思い地元建設会社に就職したことがきっかけです。

どんな時にやりがいを感じますか。

—建設会社で工事監督をしている頃は、上司から設計図面を見て何もないところに構造物ができることをイメージして工事を進めろと言われ、図面通りに構造物ができたことや、設計図面と現地が合わず発注者と協議・検討を重ねながら工事が完成した時にやりがいを感じました。現場技術業務に従事するようになってからは、工事の発注や工事監督の補助に携わることが多く、発注した工事、監督した工事が形となって残り、利用されていることにやりがいを感じます。

これまでの経歴はダムの建設・管理現場での業務に従事されたことが多いようですが、山の中での生活をエンジョイするためになさっていること等ありますか。休日にストレス解消のためにしていることがあれば教えてください。

—私は、生まれも育ちも「そば」と「トウモロコシ」が特産品である御岳山の麓、秘境開田高原なので今まで配属された建設・ダム管理現場も特に山の中であると感じたことはありませんし、休日に近くの温泉・サウナ巡りをするのがストレス解消になっています。

山下さんには施設の巡視や点検補助、データ整理、図面作成補助等多岐にわたる業務を確実に実施していただいています。また写真からもわかるとおり、朗らかで明るいお人柄です。これからもよろしくお願いします。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに答えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。



ブレイクタイム 四字熟語

【 雲心月性（うんしんげっせい） 】

・地位や名誉、利益にこだわらない、雲や月のように清らかな澄んだ心、無欲で清らかな心を表す四字熟語

《新着情報》

中部支社

○ 令和4年度（第25回）中部ブロック技術研究発表会を開催しました

9月12日（月）に令和4年度（第25回）中部ブロック技術研究発表会を開催しました。中部ブロック技術研究発表会は、中部管内で業務に従事する職員が、日常業務の中で実施した試験、調査、計画、設計、施工、管理等に関する研究の報告及び創意工夫した内容の発表提案を行い、技術の向上、開発、蓄積を図るとともに、職員の自己啓発と研究意欲の喚起及び技術情報発信の場とすることを目的に毎年開催しております。

今年度は、新型コロナウイルス感染対策を行い、発表者と審査委員は対面とする方式で開催して、聴講者はオンライン配信として開催しました。

大学等の先生4名に論文及び発表の審査委員として審査に携わっていただくとともに、分野毎の発表を総括したコメントをいただきました。

審査の結果、以下の論文が審査委員長の中部支社長より表彰されました。なお、優秀賞の5題は12月6日（火）に本社で開催予定の技術研究発表会本選へ中部ブロック代表として発表することとなります。

優秀賞論文一覧

発 表 論 文	発 表 者	
取水を維持しながらの牟呂松原頭首工の土砂吐ゲート動作不能の応急復旧対応	豊川用水総合事業部 新城支所管理課	二村 健太
外装型軸用漏水漏油防止装置の開発	中部支社 設備課	高山 大希
建設DXによる長大トンネルの施工管理と働き方改革への貢献	豊川用水総合事業部 新城支所第一工事課	小笠原 大貴
牧尾ダムにおける事前放流とすりつけ操作 ～R2、R3の洪水対応～	愛知用水総合管理所 牧尾管理所	藪田 暢也
味噌川ダムにおける濁水長期化の特徴と対応状況	味噌川ダム管理所	小川 直輝

特別賞論文一覧

発 表 論 文	発 表 者	
長良川河口堰管理所におけるICT等の導入・活用取組について	長良川河口堰管理所 機械課	長田 一希
中里ダム緊急放流設備が抱える課題：点検手法について	三重用水管理所	結城 亮
豊川用水における最適な水源運用計画探求の取り組み	豊川用水総合事業部 水源管理所	福田 暁
阿木川ダム緊急放流設備の振動解析における評価手法について	阿木川ダム管理所	木下 伸幸

○ 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました

9月15日（木）、中部支社と管内各事業所が連携して、大規模地震を想定した地震防災訓練を実施しました。

地震防災訓練は、防災業務計画及び同細則と各事業所が策定する業務継続計画（大規模地震編）に基づき、地震発生時における防災業務の円滑かつ適切な遂行及び機構職員の地震に関する防災意識・対応能力の向上を図ることを目的として、毎年実施しています。

当日は、アクリル板の設置、防災要員の間隔確保、換気対策などの新型コロナウイルス感染防止対策を考慮して実施しました。

訓練は、午前9時に地震が発生したと想定し、防災本部の設置、職員の安否確認、各事業所からの施設点検報告、被災箇所の応急対策検討、関係機関との情報伝達訓練等を実施しました。

中部支社では、地震防災訓練を踏まえて、実際の地震発生時に適切な対応が行えるよう努めてまいります。



■ 防災本部の訓練状況

○ コンプライアンス及び交通安全講習会を実施しました

10月11日（火）、中部支社では職員を対象にコンプライアンス講習と交通安全講習を実施しました。講習は、2回に分けて行い、講習参加者は合計33名でした。

コンプライアンス講習は、ハラスメントとは何か、改めて本質を理解するため、再現ドラマを通して、自分の言動や行動を見つめ直し、ハラスメントのない職場の大切さを学びました。

ハラスメントは、自分の常識が他には非常識なことが多々あるようですので、今後、相手の気持ちになって行動しましょう。

また、交通安全講習は、10月に入り愛知県の交通事故による死者が100名を超え、全国でも交通事故が多い県であります。

今回は、交通事故の再現映像を見て、事故防止のポイントを学びました。

これから訪れる秋から冬にかけての夕暮れ時の交差点の事故、特に自転車と自動車との事故が多くなっています。自転車や自動車を運転する場合は気をつけましょう。



■ 映像で学ぶ講習会の様子

豊川用水総合事業部

○ 小学生が夏休みに水の勉強 ～牟呂松原頭首工・用水路の見学～

8月2日（火）と9日（火）に「夏休み水の教室“水の博士になろう”」（豊橋市上下水道局主催）の一環で、豊橋市在住の小学生とその保護者計37名が牟呂松原頭首工および牟呂松原用水路を見学しました。

このイベントは、水の循環に関する施設見学などの実体験を通して、水資源・水環境の保全の必要性を総合的に理解していただくことで、身近な水道事業・下水道事業をPRすることを目的に毎年実施されています。

牟呂松原頭首工の魚道や取水口など普段では近くで見ることのない施設を間近にして、小学生だけでなく保護者の方々も興味津々の様子でした。その後に浄水場や処理場も見学され、普段使っている水がどこからきて、どのように処理されて皆様の元にとどけられるのか、実際に目で見て感じることによって、循環する水のしくみや水の大切さを学んでいただけたことと思います。



■ 魚道に興味津々



■ 牟呂松原用水路の歴史に触れる

○ 地元の小学生が大野頭首工を見学

9月5日（月）、地元の新城市立東陽小学校4年生の皆さん（小学生19名、先生2名）が大野頭首工を見学されました。

この見学会は、平成18年度から課外授業の一環として、大野頭首工の役割や働きについて知っていただく事を目的に、毎年、出前講座を行った後に現地見学会を実施しております。

今年度の出前講座は6月29日（水）に実施し、見学会についてはもともと夏休み前に実施する予定だったのですが、相次ぐ大雨により延期を重ね、前の週の予報では、またしても雨だったことから、見学会が無事に開催できるかとても不安でした。

しかし、当日になってみればからりと乾いた快晴に！かんかん照りつける太陽の中、それ以上に元気な小学生の皆さんが大野頭首工を隅々まで探検していました。

毎年恒例となっている見学会を今後も継続して実施していくことにより、地元小学校との繋がりを大事にしていきたいと考えております。



■みんなで勉強中



■怖さ半分、興味半分

○ 浅間風越トンネルが貫通

豊川用水二期事業で実施している東部幹線併設水路浅間・風越工区工事が8月30日(火)に無事貫通しました。この工事は約4kmのトンネルをNATM工法という火薬を使い掘削する工法で施工をしてきました。令和2年5月28日に上流側から、令和2年8月19日に下流側から掘りはじめ、トンネル内径3,100mmに対して貫通地点では45mmの中心誤差に収め、無事貫通を迎えることができました。貫通の瞬間の動画は、以下のQRコードにてご覧いただけます。

今後は掘ったトンネルを水路の形に成形する工事を行っていきます。引き続き、事業へのご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



■祝！貫通



■貫通の瞬間の動画はこちらから

○ 大島ダム・ウォーク（第11回）を開催します。

「大島ダム」の完成から10周年を記念するイベントとして平成22年度に始めた大島ダム・ウォークを開催いたします。

このイベントは、豊川用水大島ダムの建設にご協力いただいた水源地域の皆様にご感謝の意を込めるとともに、大島ダムをより理解していただくことをめざして実施しております。令和2年・3年度は、新型コロナウイルス感染防止のため中止とさせていただきますが、関係機関等のご協力を得て3年ぶりに開催することになりました。

鳳来東小学校をスタートし、大島ダムを折返して三河川合駅をゴールとした約6.5kmのコースをお散歩気分、楽しく歩いていただければと思います。

★ 開催日：令和4年11月5日（土）（小雨決行）

★ 集合：午前9時までに新城市立鳳来東小学校（新城市川合字コシ75-1）にお集まりください。

なお、三河川合駅周辺に駐車場を用意しておりますが、駐車スペースに限りがございますので、参加される際は公共交通機関でのお越しをおすすめします。

★ 参加費：無料

★ 事前申込：不要

★ 詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa>



ブレイクタイム ことわざ

【 手の中の雀は、屋根の鳩よりも良い 】

・遠くにある不確かなものより、近くにある確実なものの方が良い。という意味のドイツのことわざ。無理をするより、等身大の自分を見つめて、必要以上に求めないことが、成功に結びつくかもしれませんね。

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 「冠山登山道清掃活動」に参加しました

10月1日（土）、NPO法人揖斐自然環境レンジャー、揖斐川上流漁業協同組合、生命の水と森の活動センター協議会の主催による揖斐川上流水源地域の清掃活動の一環である「冠山登山道清掃活動」に参加しました。

当日は、天候にも恵まれ、他団体の方や徳山ダム管理所の職員とともに、冠山峠までの林道をエリア分けしてゴミを収集し、揖斐川の水源の豊かな自然環境の保全活動を行いました。

峠に集合した後は、一同揖斐川水源である冠山の山頂を目指し、登山とあわせてゴミを拾いました。道中はアップダウンの厳しいコースで、最後は勾配のきつい岩壁を登り山頂に到着しましたが、山頂から望む徳山湖は絶景でした。



■冠山峠までの林道を清掃



■冠山峠で記念撮影

愛知用水総合管理所

○ 上下流交流イベント「流域で繋がったらめでタイね」に参加しました

9月24日（土）、25日（日）に、僕らのルネッサンス実行委員会が主催する上下流交流会イベント「流域で繋がったらめでタイね」に参加しました。

このイベントは、愛知用水の受益地である知多半島先端の南知多町が毎夏、豊漁と海の安全を願う「豊浜鯛祭り」で繰り出す鯛みこしの縮小版が、下流地域（南知多町）を出発地とし、中流地域を經由して最終的には上流地域（王滝村）に向け遡上する企画で、この間各所



■鯛みこし作成の様子

で交流イベントを図りつつ、参加者には鯛のウロコに見立てた自分の手形を描いてもらいながら、愛知用水の歴史や、上下流交流の重要性の理解を深めていただくことを目的に実施されました。

愛知用水総合管理所の各管理施設では、愛知池・兼山取水口・牧尾ダムの順に鯛が遡上し、各所でイベントが開催されました。

愛知池会場におきましては愛知池友の会の参加者や日進市長、日進市市議会議員も参加され、一緒になって各種イベントを盛り上げるなど一体感が生まれ、兼山取水口会場と牧尾ダム会場においても、鯛に込められた想や愛知用水と交流の重要性を改めてご理解いただく場となり、大変有意義な取組みとなりました。

水資源機構へも挨拶の依頼があり、上下流交流のパイプ役としてこのようなイベントを支え続けるとともに、牧尾ダム以外の水源ダム（阿木川ダム・味噌川ダム）にも触れ、皆様に安全な水を安定してお届けする水資源機構の使命と、この機構が発足60年を迎えたことなどについてお伝えする良い機会を頂きました。



■鯛みこしの出発

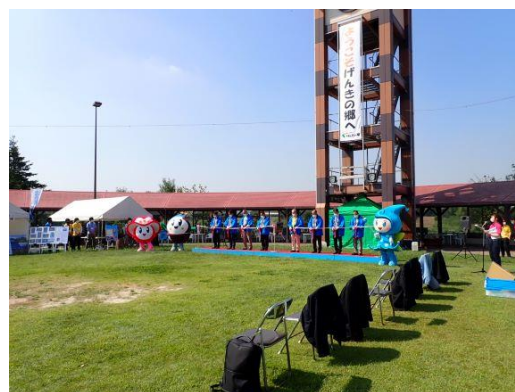


■鯛みこしが無事遡上完了

○「愛知用水と水源の森」イベントに参加しました

10月1日（土）、JAあぐりタウン げんきの郷ふれあい広場（愛知県大府市内）におきまして、愛知用水土地改良区が主催する、受益地域と水源地域との交流イベント「愛知用水と水源の森」が開催されました。

イベントには、愛知用水を紹介する紙芝居、糸鋸寿司（木のおもちや）、間伐材コースター作りの工作教室、水源地である王滝村・木曾町PRなど、たくさんのブースが出展されました。また、今年も王滝村のイメージキャラクター「クリピー」と木曾町の「うめ



■イベントキャラクターたち

みちゃん」、愛知・豊川振興協会の「アイちゃん」が駆けつけ、イベントを盛り上げてくれました。

当管理所では、牧尾ダムの流木の無料配布、パネル展示を用いて愛知用水の概要説明などを行いました。今年も大変好評で、準備した流木はほとんどがなくなりました。

大人から子供まで多くの方にご来場いただき、楽しみながら、愛知用水や水源涵養林の重要性について認識していただけたのではないかと思います。

今後もこのようなイベントを通して、受益地域と水源地域との交流がますます盛んになり、上下流の絆がさらに深まることを期待しています。



■ 流木配布の様子



■ パネル展示の様子

木曾川用水総合管理所

○ 木曾川用水・長良導水管理運営協議会を開催しました

6月16日（木）に東海農政局、中部経済産業局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、各務原市、八百津町、関係土地改良区、学識者及び水資源機構で構成する「第40回木曾川用水管理運営協議会」を中部支社4階会議室にて開催しました。7月20日（水）には愛知県企業庁、学識者、水資源機構で構成する「第25回長良導水管理運営協議会」を同様に開催しました。

協議会において、水資源機構から諮問する令和4年度配水計画（案）、令和4年度管理業務予算（案）及び令和5年度管理業務必要額（案）についてご審議いただき、原案どおりご承認いただきました。



■ 協議会の状況

当該配水計画及び管理業務予算を以て、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」経営理念の達成に向けて、令和4年度も引き続き、適正かつ確実な管理業務に努めてまいります。

○ 交通安全講習会（第1回）を開催しました！

7月28日（木）稲沢警察署から講師を招き、交通安全講習会を開催しました。本講習は、木曾川用水に勤務する職員等を対象に、安全運転及び運転に対する責任等の意識を高めるため各年度2回実施しております。

講師の講話及びDVDの上映を通じて、自分自身や、子どもを始めとする大切な家族の交通事故を防止するために、常日頃から意識すべきことや取り組むべきことについて学ぶことができました。

これからも事務所一同交通事故防止に努めてまいります。



■講習会の様子

○ 就業体験実習生（インターンシップ）を受け入れました

木曾川用水総合管理所では、令和4年度のインターンシップとして、8月22日（月）～26日（金）の1週間、近畿大学工業高等専門学校から1名の実習生を受け入れました。

実習では、木曾川用水事業の概要説明の後、上流部の木曾川右岸施設や、下流部の濃尾第二施設を見学し、予備発電設備などの電気通信設備とゲート設備などの機械設備の点検、蜂屋調整池の堤体観測などを体験してもらいました。



■木曾川大堰ゲート設備の点検



■堤体観測（地下水位観測）の実習

また、木曾川用水の水源となる岩屋ダムの見学や、中枢となる操作室で全地区の用水計算などを体験してもらうことで、木曾川総合用水事業としての水源施設と用水路施設の重要な関係性についても学んでいただきました。

最終日には、実習の集大成として1週間の成果をとりまとめ、実習成果や体験で得た感想などを職員の前で発表してもらいました。

今回の実習は、1週間と短い期間であったため濃密なカリキュラムで実施しましたが、実習生が非常に真面目に取り組んでいただいたことや、地元出身地からの参加ということもあり、期待した成果を十分に達成できたのではないかと思います。



■操作室業務（用水計算等）の実習



■操作室からの遠方監視

岩屋ダム管理所

○「地震防災訓練」を行いました

9月15日（木）、岩屋ダムでは地震防災訓練を実施しました。

本訓練では地震による非常時に備え、情報をやりとりする関係機関との連絡網や点検すべき設備や機器類までの一連の流れから、備品の設置場所まで職員全員で再確認をしました。



■ 訓練の打合せの様子



■ 双眼鏡で離れた施設を点検する様子

○ 「第10回馬瀬あゆマラソン」に参加しました

10月9日（日）南飛騨馬瀬川観光協会と馬瀬マラソン大会実行委員会が主催の第10回馬瀬あゆマラソンに参加しました。

4年ぶりに開催されたマラソン大会には約230人のランナーが集まりました。山内下呂市長がスターターを務めたマラソンのコースは、急勾配が続く険しい道のりでしたが、馬瀬川のせせらぎや田舎の原風景の美しさを感じながら、ランナーたちは一生懸命に駆け抜けました。

また、同時開催されたあゆ祭りでは、馬瀬川で捕れた鮎の塩焼きが振る舞われたほか、鮎飯や鶏ちゃんなどの地元の食品が提供され、食欲の秋とスポーツの秋を満喫することができました。

残念ながらマラソン大会は今年で最後になりますが、まだ馬瀬を訪れたことが無い方は、馬瀬の自然と食文化を堪能しに、是非お越しください。



■ 開会式を務めた馬瀬っこ太鼓の力強い演奏



■ スタート前のランナーたちの様子

阿木川ダム管理所

○ 恵那農高と協働による空芯菜を収穫しました

7月1日（金）に県立恵那農業高等学校、恵那市役所、地域の皆さん、阿木川ダム管理所により、平成16年の開始から数えて19回目の空芯菜植付け作業を協働で実施しました。

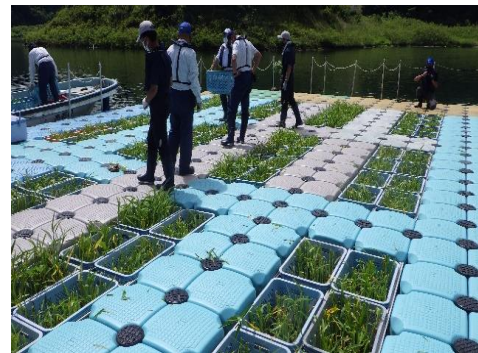
その後、空芯菜はすくすく生育し、8月5日（金）恵那農高5名と阿木川ダム管理所5名、9月9日（金）は恵那農高5名と阿木川ダム管理所4名が参加して収穫を行いました。今年刈り取られた空芯菜は、恵那農高において堆肥への利用実験等に使用されています。

これらの取り組みは、今年も地元新聞に取り上げられており、ダム湖水質保全のPRになっています。

空芯菜の水耕栽培による水質改善効果の他、流域からの流入水質の改善、貯水池内での曝気循環設備等の効率的運用効果等もあり、今年もダム湖ではアオコは発生していません。



■空芯菜の収穫（ハサミで茎を切ります）



■収穫後の空芯菜



ブレイクタイム 俳句

【 秋風の 吹けども青し 栗のいが 】松尾芭蕉

・秋風が吹いても、まわりは紅葉しているのに、栗のいがは、青々としている

徳山ダム管理所

○ 徳山ダム上流のコア山にて苗木のホームステイ・植樹活動を行いました

9月16日（金）、10月3日（月）生命の水と森の活動センター協議会・NPO法人揖斐自然環境レンジャーの主催で、徳山ダム上流のコア山（ダムを造るための材料を採取した山）にて、地元揖斐川町立北和中学校の生徒さん（9月16日）と春日小学校・北方小学校の児童さん（10月3日）が苗木のホームステイ・植樹活動を行いました。

生徒さん、児童さん達に春に預けていたクリ、トチノキ、ブナ、ミズナラなどの小苗は、約半年間校庭で大切に育てられ立派に成長していました。

植樹前に徳山会館で職員によるコア山の説明を行い、そこから連絡船「とくまる」に乗ってコア山へ向かいます。植樹は、2人1組で力を合わせて苗を植えるための植穴を掘り、苗を入れ土と肥料を戻して、苗の横に害獣による食害防止カバーを固定する杭を打ち、カバーをつけて植樹完成です。

植樹を終えたみなさんは、過去に先輩たちの植樹した成長後の木を見て驚いていました。

この活動は、小中学生に苗木の育成方法、森林と水、野生動物との関わりなど、水源地域の自然環境保全の必要性を理解してもらうために、平成21年度から実施しております。これらは野生動物の生活場所を守るための、徳山ダム管理所での大切な活動の一つです。



■とくまる乗船の様子（中学生）



■コア山説明の様子（小学生）



■植樹の様子（中学生）

○ 徳山ダム上流の原石山の湿性地にて外来種の駆除作業を行いました

10月4日（火）徳山ダム上流にある原石山の湿性地で外来種の駆除作業を行いました。原石山の湿性地調査において纏まった生育が確認された外来種のうち、今後、更なる生育範囲の拡大が懸念されるセイタカアワダチソウ等について維持管理行為の一環として、職員7名により駆除作業を行いました。外来種は全てビニール袋に入れたうえで、燃えるゴミとして処分しました。



■外来種アメリカ
センダンクサ



■外来種セイタカ
アワダチソウ



■外来種駆除後の原石山湿性地

長良川河口堰管理所

○ 船舶揚陸作業を実施しました

9月16日（金）に台風14号の接近に伴い、船舶揚陸作業を行いました。

長良川河口堰管理所では、水上作業を行うための小型船舶は、通常、河川内に設置されている船着場に常時係留していますが、台風の接近時等には強風や高潮から船舶を守るため、陸上に引き上げて一時避難させる必要があります。

今回は台風の接近により、船舶が大きく揺れるほどの強風が予測されたため、事前に対応できる職員で堰上下流に係留されている小型船舶2隻の揚陸作業を行いました。

当管理所で毎年6月頃に実施している船舶揚陸実働訓練の成果もあり、スムーズに作業を完了させることができました。



■船舶揚陸作業の様子



■自動車で牽引される船舶の様子

○「安全運転管理推奨像」活動実施中

桑名自家用自動車協会、桑名警察署からの協力依頼を受け、安全運転管理推奨像の取り組みを実施しています。

この活動は、交通安全の自主活動を推進するためのシンボル像として、安全運転管理者を置く事業所を3ヶ月ごとに持ち回りリレーする方式で設置し、交通事故防止を図ることを目的として、平成元年度から実施されているものです。

当管理所では、9月26日から安全運転管理推奨像、ペナント及びのぼり旗を玄関ホールに設置し、また、交通安全啓発マグネットシートを車両5台に掲げました。

これから年末までの期間、職員が一丸となって安全運転を励行し、交通事故防止に努めていきます。



■玄関ホールの設置状況



■安全運転管理推奨像

味噌川ダム管理所

○ 大規模地震を想定した防災訓練を実施しました

9月15日（木）、南海トラフ沖を震源とした大地震が発生したことを想定して、初動態勢の確立、職員同士の情報収集・伝達訓練及び現場の応急対策等の地震防災訓練を実施しました。近年、全国各地で災害級の地震が頻発しており、当管理所としてもいざという時の震災に備え、管理所全体で防災対応を円滑に実施する事ができるように努めて参ります。



■ 現場確認訓練の様子

○ 地元中学生等に施設見学を実施

8月から9月にかけて数回、地元の中学生やインターンシップ生などを対象に施設見学会を実施しました。

見学者は、当管理所職員の説明を真剣に聞き、ダムの操作設備等に対して興味を持って質問をするなど、味噌川ダムの役割とその管理業務について理解を深めていただきました。



■ ダム堤体内での説明の様子



■ 操作室での説明の様子

三重用水管理所

○ 赤川の清掃活動を実施しました

9月12日（月）に菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃除草作業を実施しました。

これは、赤川において環境保全活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で年3回実施しているもので、今年3回目となります。

これからも水辺の生物たちが赤川で元気に生活出来るよう、赤川の清掃活動に取り組んでいきます。



■ 清掃の様子

○ 地震防災訓練（個別訓練）を実施しました

毎年9月1日（木）に実施している地震防災訓練に合わせて、個別訓練として地震発生後に実施する設備（電通・機械）の点検を設備担当職員以外でもできるように、マニュアルを整備し現地訓練を実施しました。

また、設備点検時に現地と管理所で映像を共有できるよう実動訓練を実施しました。



■ 管理所での訓練の状況



■ 加佐登調整池での設備点検状況

○ 船舶操縦訓練を開催しました

10月6日（木）に船舶操縦訓練を開催しました。

打上調整池と中里貯水池は、湖を周回する道路がなく船による湖面巡視やドローン（空撮）による点検を定期的に行っています。

今回は、船舶の操縦訓練とともに、貯水池の危険箇所の把握や船舶運転時の注意事項などを共有しました。また、救命胴衣の点検や貯水池に落水した時の注意点を確認しました。



■インクライン操作盤の確認



■救命胴衣点検方法の説明

イベントカレンダー

11月		機構のイベント	地域のイベント
日	曜		
5	土	大島ダム・ウォーク（豊川用水）	
12月		機構のイベント	地域のイベント
日	曜		
28	水	仕事納め	

編集後記

【担当課：中部支社事業部ダム事業課】

暑い日々から、すっかり秋の訪れを感じられる涼しい季節になりました。

大雨のシーズンは頻繁に気象情報を確認し、ダムなどの施設をより安全に操作できるよう対応する日々でしたが、案外、空を見上げることは少なかったように感じます。

空を見上げると様々な雲に出会えます。空の分類方法として、一般的なものは、雲の姿や高さ、発生過程などに基づいて雲を10種類に分類する「十種雲形」です。十種雲形は、1956年に世界気象機関の発行した国際雲図帳で定義され、現在も世界中の観測機関で用いられています。秋の空には、どんな雲があるでしょうか。雲は十種雲形に加えて、動植物と同じように種、変種、副変種と分類されることがあるそうで、これらを組み合わせると、雲の種類は100種類を超えるそうです。雲は刻々と姿を変えて消えてしまいます。改めて、空を見上げると一期一会の出会いがあるかも知れません。だんだんと寒くなってきますので、くれぐれもご自愛ください。



